

## メロン部会総会・栽培講習会・実績検討会

11月15日(金)、若美支店でJ A秋田なまはげメロン部会の通常総会と栽培講習会、実績検討会が開かれました。

実績検討会では今年度の販売額が1億2364万円、出荷量が7万4828ケースに上ったことが報告されました。秀品率は82・6%で、直近の5年間で最も高い比率となりました。

生産振興に寄与した農家の表彰式も行われ、販売の部で淡路健志さん、生産の部で中田勝広さん、高品質安定生産の部で大越幸一さんが優秀賞を受賞しました。

## 秋田赤十字乳児院へ農産物を贈呈

11月15日(金)、秋田赤十字乳児院へ新米「あきたこまち」200キロとリンゴ20キロ、手作りクッキー30袋を贈呈しました。育成支援の1環で平成26年から行っており、今年で6回目になります。

当J Aの加藤貞吉専務が子どもたちに「あきたこまち」を手渡し、「地元のおいしいものをついばい食べて、元気に成長してください」と呼び掛けました。受け取った子どもたちは笑顔を見せ、「あきたこまち」の5キロ袋を持ち運ぶ子や、パッケージのなまはげのイラストを見つめる子もいました。



総会であいさつをする  
蓬田実部会長



「あきたこまち」を受け取る幼児

## NEWS & TOPICS

## 秋田市・男鹿市・潟上市を表敬訪問

11月15日(金)、当J Aの京極芳郎組合長と吉田文勝副組合長が、秋田市、男鹿市、潟上市の3市を表敬訪問しました。管内農業の情勢や農産物の生育状況などを報告し、管内産のダリアとリンゴを贈呈しました。

今後のさらなる農業振興に向けて、穂積志秋田市長と菅原広二男鹿市長、藤原一成潟上市長へ要請書を手渡し、産地維持への支援を仰ぎました。9月に行われた「農家のパーテイ」(秋田中央地場産品活用促進協議会)のトップセールスやスマート農業の取り組み状況、管内の基盤整備なども話題に上がりました。



要請書を手渡す京極組合長(中央)ら

